

西区
あんしん見守り
シンポジウム

地域の見守りは、 住民が主役!



25年6月27日
黒崎市民会館



自治会長・町内会長のみなさんを対象に、西区あんしん見守りシンポジウムを開催しました。ひとり暮らしの高齢者世帯が増え、社会的孤立や孤独死が課題となっている今、自治会・町内会でできることをみんなで考え、話し合い、活動につなげる「高齢者等あんしん見守り活動事業」。昨年度この事業にモデルとして活動された、内野山手自治会(岡本松男 会長)、晴海が丘自治会(白井博 前会長)、寺尾新町第一自治会(前田信一 会長)の3自治会から報告をいただきました。

自治会役員が
目標に向かって一致団結。
民生委員との協働が必須。



岡本松男 会長



白井博 前会長

住民は日頃から
となり近所を気にかけている。
顔がわかり話せる関係を築き、
困りごとに耳を傾けていく。

大きな自治会なので、
地域の茶の間を2ヶ所で開催。
遠方親族と連絡を取り合える
関係づくりが必要。



前田信一 会長

24年度の主な取り組み(一部抜粋)

内野山手自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん見守り隊(かけ込み寺的仕組み)立ち上げ ・山手のチカラ(除雪支援)立ち上げ ・緊急連絡先シールを全戸配布 ・地域の茶の間立ち上げ準備
晴海が丘自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡カードを全戸配布 ・回覧板の手渡し促進 ・防災会役員の訪問回数増 ・あいさつ運動&標語の募集企画準備
寺尾新町第一自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を記入したマップ作成 ・2ヶ所で地域の茶の間開催 ・独居高齢者の別居親族との連絡体制を整備 ・海拔表示の掲示



日頃のあいさつ、声かけ、気になることがあった時の連絡体制、地域の茶の間のような交流の場、訪問活動、身近なたすけあい活動など、ご近所だからできる見守り活動がたくさんあります。

地域の茶の間、ふれあい交流、友愛訪問などのご相談は、いつでも西区社会福祉協議会へお寄せください!また、高齢者等あんしん見守り活動事業は今年度も複数のモデル自治会と一緒に取り組みをすすめています。

赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

10月1日より、赤い羽根共同募金運動がはじまります!!

皆さんは募金がどのように使われているかご存知ですか?今回はその一例をご紹介します。



子育てサロン



福祉施設に移動車両



高齢者への配食サービス



災害時の支援



三世交代



福祉教育・市民学習



障がい者が働く福祉農園



福祉情報を伝える



盲導犬の育成

この他、募金は様々な場面で活用されています。
「じぶんの町を良くするしくみ」
1世帯400円を目安に、ご協力お願いいたします。

赤い羽根共同募金

